

## 船舶事故調査報告書

平成26年12月11日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

事故種類	衝突
発生日時	平成24年7月10日（火） 05時40分ごろ
発生場所	香川県観音寺市伊吹島南西方沖 観音寺市所在の伊吹港赤埼灯台から真方位213° 80m付近 （概位 北緯34° 07.4′ 東経133° 31.9′）
事故調査の経過	平成24年7月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
<b>事実情報</b> 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 漁船 <sup>じっこう</sup> 實幸丸、9.91トン KA2-1240（漁船登録番号）、有限会社山文水産 14.44m（Lr）×3.19m×0.97m、FRP ディーゼル機関、50馬力（漁船原簿謄本による）、昭和57年3月12日 B 漁船 <sup>じっこう</sup> 實幸丸、9.91トン KA2-1241（漁船登録番号）、有限会社山文水産 14.44m（Lr）×3.19m×0.97m、FRP ディーゼル機関、50馬力（漁船原簿謄本による）、昭和57年3月12日 C モーターボート <sup>しんぼう</sup> 第二新宝丸、5トン未満 280-17826香川、個人所有 5.69m（Lr）×1.69m×0.74m、FRP ディーゼル機関、22.07kW、昭和59年4月
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 57歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年6月26日 免許証交付日 平成22年5月14日 （平成27年5月13日まで有効） C 船長C 男性 80歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年5月14日 免許証交付日 平成21年9月14日 （平成27年3月14日まで有効）

死傷者等	軽傷 1人（船長C）
損傷	A 船首部に破損 B 船首部に破損 C 船首部に破損等
事故の経過	<p>A船は、船長Aほか4人が乗り組み、5人が乗り組んだB船を左舷側に横抱きして引船列（以下「A船引船列」という。）を構成し、船長Aが単独で操船に当たり、手動操舵で伊吹島南方沖を北西進中、前方を同航する僚船に近づいたので、右転して航行中、平成24年7月10日05時40分ごろA船及びB船の船首部とC船の船首部とが衝突した。</p> <p>C船は、船長Cが1人で乗り組み、05時10分ごろ伊吹島南西方沖の釣り場に到着し、錨泊して釣りの準備を始め、船長Cが、周囲の漁船などを見ながら、座って釣りの準備を行っていたとき、船首方約100mに自船に向けて接近するA船引船列を視認したので、立ち上がって両手を振り、注意喚起をしたものの、A船引船列が接近して来るので、危険を感じて海に飛び込んだとき、A船引船列と衝突し、転覆した。</p> <p>船長Aは、衝突後にC船に初めて気付く、海面に浮かんでいた船長Cを救助してC船を観音寺市伊吹港にえい航した後、海上保安部に通報した。</p> <p>船長Cは、救助された後、病院に搬送された。</p> <p>船長Cは、左頭部打撲及び右前腕挫傷を負った。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約277cm（観音寺港）</p> <p>日出時刻：05時02分</p>
その他の事項	A船には、レーダーはなかった。
分析	<p>乗組員等の関与 A あり、B なし、C なし</p> <p>船体・機関等の関与 A なし、B なし、C なし</p> <p>気象・海象等の関与 A なし、B なし、C なし</p> <p>判明した事項の解析</p> <p>A船引船列は、伊吹島南西方を北西進中、船長AがC船に気付かずに航行したことから、C船と衝突したものと考えられる。</p> <p>C船は、伊吹島南西方沖で錨泊中、船長Cが、釣りの準備を行っていたところ、船首方約100mにC船に向けて接近するA船を視認し、立ち上がって両手を振り、注意喚起をしたが、A船引船列と衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、伊吹島南西方沖において、A船引船列が北西進中、C船が錨泊中、船長AがC船に気付かずに航行したため、A船引船列とC船とが衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

	られる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。
--	--------------------------